

## 第2回WS意見(対策案について)【つづき】

- ②A案について
- 坂井保育園を適地に誘致する案はよい。送迎車の混雑も解消され、児童の安全確保にもつながる。民営化は財政面でも保育サービスの面でもよい
  - A案でもC案のように「空き家や自治会館を活用」してはどうか
  - A案でもB案のように「2小学校の統合」ができるとうい
- ③B案について
- 児童数の変化は現時点ではわからないので、約20年後の小学校統合については、対策が必要な段階で考えればよいのでは
  - 2小学校と中学校の一体型整備では、統合校と分離校間に教育サービスに差が生じる懸念や、分離校の児童だけ中学校から一緒になることで摩擦が生まれる可能性もある
  - 坂井輪中の建替えに合わせた図書館や公民館の複合化はよい
- ④A案・B案の共通事項
- 児童館を新通小敷地内に移転するのであれば、学校とは出入口を分け、授業時間内でも利用できるような対策が必要
  - 児童館をひまわりクラブ第1に移転させてもグラウンドは狭いままであり、学校駐車場も狭いため、更に混雑が予想される
  - 児童館をひまわりクラブ第1に移転すると無料の児童館と有料のひまわりクラブが同敷地となり「ひまわり」利用者が減少するのでは
  - 児童館は坂井輪地域だけでなく広範囲の子どもが利用しており、新通小内に移転すると他地域の子どもが利用しにくくなる懸念がある
  - 坂井保育園は駐車場がないために送迎車が混雑し歩行者が危険。移転することはよい
  - 坂井保育園の適地移転で「駐車場の確保が期待される」とあるが、

- 送迎車の混雑解消、通園バス検討への期待や徒歩通園の容易さも考えられるので、「アクセスの確保が期待される」とすべきでは
- ⑤C案について
- 新通小グラウンドは狭くて不便。ひまわりクラブ第1解体によるグラウンド拡充は、体育授業等の教育的視点、クラブ・部活動の視点だけでなく、地域開放で野球などのスポーツ充実の可能性も
  - 坂井保育園が2階建てになって園庭や駐車場スペースが確保されるのはよい。確保できない場合は、通園バスなどで対応してほしい
  - 坂井保育園は、市営でコストをかけてまで2階建てにする必要はない
  - 長寿命化するよりも、早い段階で建替えた方が長期的にはコスト削減につながるのでは
  - 児童館の坂井保育園への複合化は、他地域の子どもが利用しにくくなる懸念がある。児童館と保育園は役割などが異なり複合化は難しいのでは
  - 児童館の機能について自治会館や空き家を活用して実施するには、自治会にノウハウもないし、公共の事業として違和感がある
  - 児童館を現西川荘に移転・新築し、複合化しては
- ⑥追加・修正案について
- コスト削減はわかるが、地域の魅力を向上させる新しい施設をつくる案も検討してほしい
  - 分離新設校はつくりず、小中学校、公民館と一緒にできるとよい。また、公民館はもっと広いスペースが必要で、図書館は寺尾中央公園に移転してはどうか
  - 公民館と児童館の複合化は多世代交流につながるのでは
  - 児童館、保育園、西川荘の機能を合わせた、福祉系複合施設を現西川荘に建設し、隣接地域からも利用可能な施設にしては

評価項目等について  
ご意見をお寄せください。

## 第2回ワークショップ(WS)での議論の内容②(抜粋)

第2回WSでは、各案を比較検証するための比較評価(案)も併せて市より提示され、記載内容の確認、妥当性、追加すべき視点や評価項目について議論がなされました。

課題	評価項目(課題解決の狙い)	A	B	C	物差案
①コスト(施設の維持・更新費)	・コストを長期的(50年間)に、どの程度削減できるか				
②安心・安全の確保	・子どもの安心・安全の確保ができるか ・大規模な災害で、安心して避難できる避難所運営ができるか ・子どもが自由に過ごせる環境(居場所)が確保されているか				
③子育て環境の充実	・子育て施設が、利用しやすい施設配置となっているか ・子育て環境(教育環境など)が悪化しないか ・一時預かりの場が拡充されるか				
④地域の活性化、多世代共生・交流	・地域の活動場所の確保ができていないか ・地域の人と一緒に会える場が確保できているか ・多世代が自然と交流できる施設となっているか				
⑤駐車場	・各施設に十分な駐車場が確保されるか ・民有地・民間建物などの活用ができていないか				
⑥民間活用、空き家活用	・空き家の有効活用可能性があるか ・商業施設の配置を考慮した公共施設の配置となっているか				
⑦運営方法	・公共施設の運営に地域住民など民間活力の可能性はあるか ・同一施設で複数の用途に利用するなど、運営面の工夫ができるか				

WSなどで得られた意見をもとに、今後、対策案を大幅に修正する予定です。そのため、評価内容も大幅に変更となる事から、評価内容は省略しています。WSで提示された資料はHP(表紙QRコード参照)をご覧ください。

### 第2回WS意見(評価項目について)

- (1)評価項目全般
- 全ての課題解決は難しい。何を目的にこの事業を行うのか見えるようにしてほしい
- (2)①コスト(施設の維持・更新費)
- 「コストを長期的(50年)に・・・」とあるが、30年程度でやっと想像ができる
- (3)②安心・安全の確保
- 「通学路や公共施設までの安全確保ができているか」を加えてほしい
  - 子どもだけでなく、高齢者をはじめどの世代も安心・安全は求められるのでは
- (4)③子育て環境の充実
- 児童館は中高生の居場所としても重要。「乳

- 幼児から中高生までの幅広い層の居場所となっているか」、「中高生の居場所として機能しているか」、「子どもたちが健やかに育つ環境にあるか」といった項目も必要
- (5)④地域の活性化、多世代共生・交流
- 「高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場が確保されているか」を項目に入れるとよいのでは
  - 新たな施設で地域活性化につなげる「地域の将来性」といった視点が欲しい
- (6)⑤駐車場
- 施設へのアクセスは、駐車場を確保すれば解決するものではない。公共交通網の改善など「アクセスが充実しているか」とい

- た視点で考えたい
- (7)⑥民間活用、空き家活用
- 民活、空き家活用は民間側の意向によること
  - が大きいので、評価は不要では
- (8)追加すべき課題・評価項目
- 市全体で考えなくてはならない公共施設もあると思うので、「市全体の課題が解決できるのか」という項目を追加してほしい
  - 児童館のようなコストがかかっても維持する必要がある施設もあるため、「地域での役割の重要性」を評価できるとよい
  - 高齢世代を対象とした評価の視点が抜けている。「高齢者の生活の充実」といった項目も必要

## 新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第3号

<発行者>  
地域別実行計画  
コミュニケーション事務局  
◆西区地域課  
TEL025-264-7161  
◆財務部財産活用課  
TEL025-226-2387  
(平成30年12月発行)

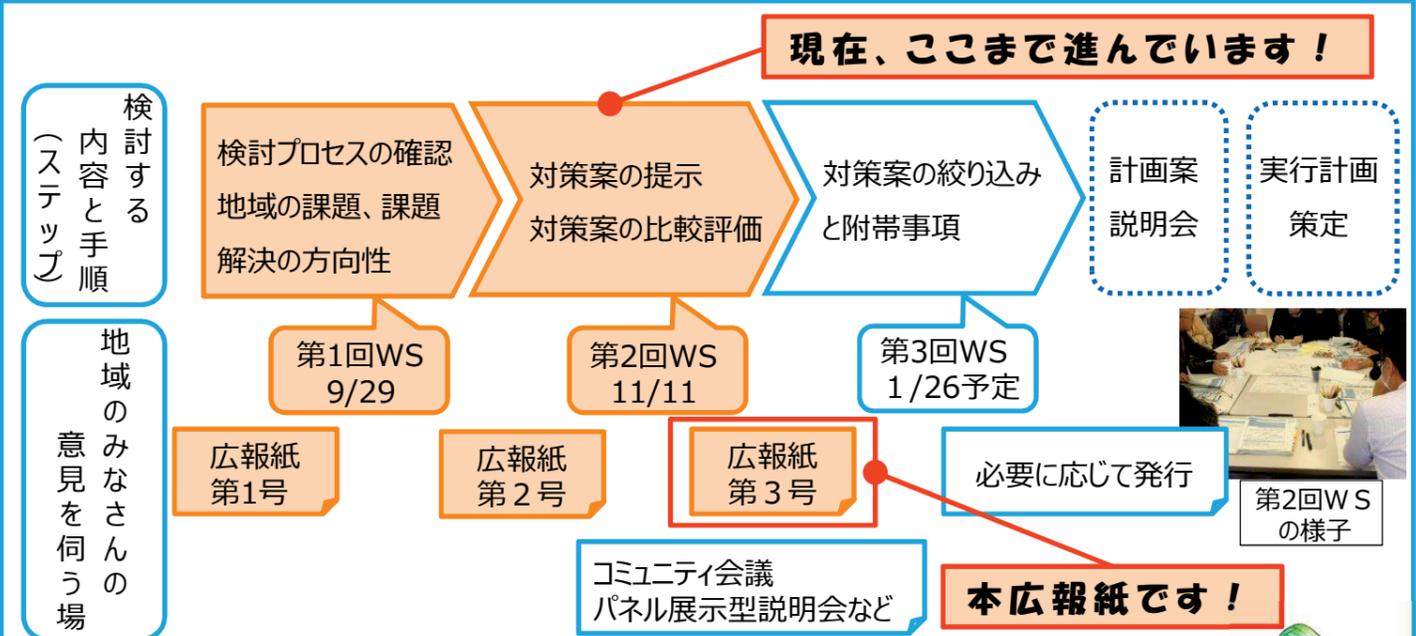
# 一緒に考えませんか? 坂井輪地域のまちづくり ~公共施設のこれから~

坂井輪中学校区では、新通小学校の分離新設校の整備を契機として、公共施設のこれからの考えるワークショップ(WS)を9月から開催しています。

WSをはじめ、「本広報紙」や自治会・関係団体などに事務局が直接お伺いし状況をお伝える「コミュニティ会議」などにより、地域のみなさんから様々なご意見を伺っています。

市は、それらのご意見をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「坂井輪地域実行計画」を策定します。

## 公共施設の今後のあり方について検討を開始しました!



## パネル展示型説明会(オープンハウス)を実施します!

開催日時 : 12月25日(火)10時~17時  
場所 : 坂井輪地区公民館 1階

ご来場お待ちしております。

WS参加者のみならず、広く市民の皆さんからのご意見を収集する機会として、オープンハウスを開催します。会場では、市の取り組みやWSの議論の内容など、様々な情報をパネル展示します。会場では、担当者のご質問やご意見を承ります。お気軽にお立ち寄りください。

## ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局  
(西区地域課・財務部財産活用課)

郵便 〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

メール [chiiki.w@city.niigata.lg.jp](mailto:chiiki.w@city.niigata.lg.jp)

ワークショップで配布した資料は、市ホームページに掲載しています。

電話 025-264-7161

FAX 025-269-1650

<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/ws.html>



# 第2回ワークショップ(WS)での議論の内容①(抜粋)

対策案について  
ご意見をお寄せください。



第2回WSでは、第1回WSの議論された「坂井輪地域の課題解決の狙い」をもとに、複数の対策案が市より提示され、各案の長所、短所、改善すべき事項を議論しました。

- 凡例**
- 短期的取組 (～5年程度)
  - 中期的取組 (10年程度)
  - 長期的取組 (20年程度～)
  - ( ) の数値: 建替え想定時期※1、想定時期を超えている場合は「-」と表記
  - ◎◇複合化・多機能化 □用途転用 ◇将来 売却・貸付 ○存続
  - 解体 ◇民営化などを検討

- ※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
- ※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

	WS案 A 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備	WS案 B 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合	WS案 C 民間施設の活用、交流拠点の分散化
<b>短期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消</li> <li>・新通ひまわりクラブ第1を児童館に活用</li> <li>・余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消</li> <li>・新通ひまわりクラブ第1を児童館に活用</li> <li>・余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消</li> <li>・新通ひまわりクラブ第1を解体し、グラウンドを拡充</li> <li>・児童館は、耐震・改修工事を実施し、長寿命化</li> </ul>
<b>中期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保 (市立保育園は廃止)</li> <li>・西川荘は機能が果たせなくなった段階で廃止するが、「公民館」・「学校ボランティア室」・「新児童館 (時間を分けて児童館・高齢者利用するなど)」で高齢者の交流の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保、他保育園との統合も検討</li> <li>・西川荘は機能が果たせなくなった段階で廃止するが、「公民館」・「学校ボランティア室」・「新児童館 (時間を分けて児童館・高齢者利用するなど)」で高齢者の交流の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の子育て支援機能を保育園へ移転、跡地は駐車場として活用。併せて、自治会館・空き家を活用し、子どもの居場所を確保</li> <li>・市立保育園を2階建に建替え、駐車場・園庭スペースを確保、子育て支援機能を併設</li> <li>・西川荘は機能が果たせなくなった段階で廃止するが、自治会館・地域の茶の間等を活用し、高齢者の交流の場を確保</li> </ul>
<b>長期</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の建替え時に、図書館・公民館と複合化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来児童数減少予測を踏まえ2小統合、中学校との一体整備、図書館・公民館と複合化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の建替え時に、図書館・公民館と複合化</li> </ul>
<b>再編(案)</b>			
<b>長所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化</li> <li>・ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される</li> <li>・保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される</li> <li>・保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化</li> <li>・ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される</li> <li>・保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される</li> <li>・将来人口を見越した学校の再編を行うことで、大きなコスト削減が見込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化</li> <li>・自治会館なども集会施設として位置付けることにより、活動拠点が分散化され、交流拠点が複数配置される</li> </ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の移転に伴い、屋外スペースの確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の移転に伴い、屋外スペースの確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要</li> <li>・保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事等多額の費用がかかる</li> <li>・中学校敷地に統合小と中学校を整備する場合、グラウンドが小さくなる懸念</li> <li>・小中学校一体整備により、小中一貫的な教育サービス提供が可能となるが、分離新設校との教育サービスの差が懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園を現地建替えするには、建設工事に加えて仮設の園舎が必要となり、高コストとなる</li> <li>・保育園に児童館機能を複合化して整備することで、子育て支援機能の強化が図られるが、敷地規模の関係から、数台程度の駐車スペースにとどまる可能性がある</li> </ul>

紙面上の都合で、WSでいただいたご意見の趣旨が変わらない範囲で要約しています。詳細はHP(表紙QRコード参照)をご覧ください。

## 第2回WS意見(対策案について)

- ① 全案共通の意見
- ・「課題解決の狙い」のどこの項目を反映させた案なのか分かるように示してほしい
  - ・坂井輪地域は住民は多いが他地域より公共施設が少ない。削減ありきではなく、ある程度のお金をかけてでも坂井輪の魅力が増すような計画が必要では
  - ・10年・20年先の社会情勢は変わるので、現時点で中長期を踏まえた案の作成は不要では
  - ・20～30年後の子どもの数がどう変化するか分からないので、現状では想像できないような子育て施設が必要になる可能性もある。将来に備えて様々なニーズに対応できる柔軟性のある施設整備が必要
  - ・低利用率の施設は廃止や他施設と複合化するなど、今からコストを抑え、新たな施設建設に備えたい。将来的には小・中学校、公民館の複合施設ができたらいとと思う

- ・ひまわりクラブ第2・3の借地解消はよいことだ。その場所に民設民営の児童館・保育園を運営してもらえば、財政負担が少なくなりよいのでは
- ・児童館は、市全体の整備方針や利用者の範囲の設定などをすべきで、坂井輪だけで考えられる問題ではないのでは
- ・児童館や保育園は、民営の方がサービスが充実し利用しやすくなるのでは。財政面でも市の負担が減る。両施設を複合化するか、どこに建設するのかなどは、子どもが健やかに育つためにあらゆる想定をしながら今後検討していけばよいのでは
- ・児童館は就学前の子と親、小学生の居場所となっている。民営になっても土日開館とこれまでの児童館機能が残ることを前提条件としてほしい
- ・新通小余裕教室の地域利用で、授業への騒音を気にすることなく利用可能か、夜間・土日利用可能か心配。学校判断で利用規則が変わらないよう事前にルールを決める必要がある

- ・新通小余裕教室の活用はひまわりクラブの他に、ミニ児童館のようなものがあるとよい
- ・駐車場が少ないという課題はどの案も改善されていない。例えば、大きな駐車場を設け、そこから定期バス等で主要施設までピストン輸送できるようになれば改善できるのでは。また、公共交通利用促進の工夫も必要だと思う
- ・西川荘は更新しない方針であれば、1～2年で廃止したほうがコスト軽減になるのでは
- ・コスト削減の必要性もわかるが、利用率が低くても残すべき施設はあるように思う。西川荘の入浴施設は、高齢者の独り暮らしなどにとって必要な機能だと思う。入浴機能を残すよう考えてほしい。また、デイサービスなど民間施設は活用できないか
- ・評価項目に“一時預かりの場が拡充されるか”とあるので、対策案で触れてもらいたい
- ・飲酒もできるような多世代が使える場がほしいという意見を案に反映してほしい